

## アムステルダム建築アカデミーにおける建築設計実務を取り入れた

### 修士課程教育プログラムに関する調査研究

#### 調査報告書概要

北海道大学大学院工学研究院

小澤 丈夫

#### 1. はじめに

オランダにおいて、公的な建築家資格の取得条件を満たす高等教育機関には、工科大学 (Technische Universiteit) と実務専門大学校 (Hogeschool, 略称 HBO) がある。その中でも、近年アムステルダム建築アカデミー (Academie van Bouwkunst Amsterdam, 以下 AvBA) が注目されている。ボローニャ合意 (1999 年) に基づく 4 年制修士課程の教育プログラムへの移行を 2003 年に完了した AvBA は、過去 10 年の修了者数が毎年 20 ~ 30 人程度の小規模ながら、近年では、オランダにおける卒業設計賞 Archiprix において、デルフト工科大学や他機関を上回る受賞数を獲得する成果を見せている。また、2010 年には、オランダにおける高等教育の評価を行う独立機構 Het Hoger Onderwijs Persbureau から、建築分野におけるベスト・マスターコースにランキングされた。

本研究は、オランダの建築家資格が法制化され、建築教育制度が大きく変わった 1988 年以降の AvBA の教育プログラムと組織の変遷とその背景、特徴を明らかにすることによって、現代の建築教育のあり方を検討するための知見を得ることを目的とする。

研究方法は、現地における施設と運営状況の視察、AvBA 所蔵のスタディガイドをはじめとする文献調査、ディレクター・部門長・スタッフ・教員・学生等 AvBA 関係者へのインタビューによる。

#### 2. 創立背景と組織形態

1908 年、AvBA は、建築設計実務に携わる技術者の能力を向上させ、建築家として自立させるための 3 年制冬季夜学校としてスタートした。創設者は、アムステルダムの建築家グループで、W. Kromhout、H. P. Berlage、J. Th. J. Cuypers 等、当

時の先導的な建築家が含まれていた。創立以来の建築 (Architectuur) に加え、1957 年にアーバンイズム (Stedenbouw) 1972 年にランドスケープアーキテクチャー (Landschapsarchitectuur) が追加され、現在の 3 部門体制となった。

AvBA の人員構成は、2010 年において、学長 1 人、運営スタッフ 23 人、入学者 82 人、修了者 23 人に対し、教員が 373 人となっている。3 部門長以下すべての教員は任期付の雇用契約により、常勤職員数を最小限に押さえることによって、多数の外部教員を適材適所で登用する仕組みとなっている。

#### 3. 現在の教育プログラム

2003 年、AvBA は 4 年制修士課程となった。学生は、設計事務所で実務を行いながら、原則平日の週 3 回 19:30 以降、及び週 1 回午前又は午後、AvBA においてプロジェクト (P)・エクササイズ (O)・フォームスタディ (V)・レクチャー (C) の 4 カテゴリー内にある科目に取り組む。これ以外の科目として、公開講義やワークショップ、エクスカージョンなども用意されている。

修了のためには、4 年間で講義・演習科目 (Internal Curriculum) 計 120 単位 (ヨーロッパ・クレジット)、学外実務科目 (External Curriculum: 認定された設計事務所における実務) 計 120 単位 (同) の合計 240 単位を取得しなければならない。講義・演習科目と学外実務科目の単位比重は同じで、学外実務 120 単位取得のためには、実働 20 時間/週 x 42 週、年間計 840 時間の実務を、4 年間継続することが課せられる。修了者は、そのまま無試験で建築家資格の登録 (建築部門修了の場合) が申請でき、登録後は認定建築家の肩書きをもち、設計・工事監理業務に携わることが可能になる。

#### 4. 施設概要

1946 年以来、AvBA は、アムステルダムの中心部 Waterlooplein にある現建物 (4 階一部 5 階建、床面積約 2100 m<sup>2</sup>) を所有し現在に至っている。2004 年から 2006 年にかけて、Claus en Kaan Architecten の設計による全面的な改修が行われ、改修後の建物には、限られた空間を AvBA の教育プログラムに最大限に適応させるための様々な工夫が施されている。



AvBA 正面外観全景 (2 棟が内部で繋がれている)

## 5. 教育プログラム整備の経緯

1985年、EC閣僚理事会により加盟各国に対し、建築家教育の最低年限を4年と規定し、各国の建築家資格の相互承認を促進する制度の整備を求める指令がだされた。これを受けてオランダでは、1987年に建築家資格の法制化(Wet op de architecten title)が実施された。一方、80年代のオランダでは、景気停滞による財政的な理由から、建築における6年の高等教育期間を短縮することが求められていた。1908年の創立以来、建築家の職能団体によって運営されていたAvBAは、このような社会状況に対応するために、同団体による運営の継続を断念し、1987年にアムステルダム芸術専門学校(Amsterdams Hogeschool voor de Kunsten)に編入され、公的な教育機関として再出発することになった。

1988-89年度版スタディガイド(Studiegids)において確認したプログラムでは、修了必要年数はそれまでの6年を踏襲しながら、プロジェクト(P)・エクササイズ(O)・レクチャー(C)の3カテゴリーによって構成され、これに公開講義やワークショップ、エクスカッションなどが加わり、最終学年は卒業設計に専念させるなど、現行の基本的な枠組みをこの時点ですでにかたちづけている。P・O・Cを3本柱とする構成は、1988年からAvBAのディレクターを務めたNelly StamとGerrit Smienkの内、主にN. Stamによって、TUDの教育プログラムを参照してつくられたものであったという。また、各部門長を、この時期から、3~4年程度の周期で交代させ、組織を固定化しない方針に転換している。「大きな枠組みだけをオーダーとして設定しながら、各部門長の裁量で教育プログラムを改善していけるようなあり方」を追求したとN. Stamは述べている。また、

Semester	Projects	Exercises	Morphology	Seminars	Practice	
1	P1a P1b	O1	V1 V2	C1	Information Discussions	Capita Selecta
2	P2a P2b	O2	V3 V4	C2a C2b	Practice Report Portfolio	Capita Selecta Excursions
Examination 1						
3	P3a P3b	O3a O3b	V5 V6	C3	Information Intake students	Capita Selecta
4	P4	O4		C4a C4b	Practice Report Portfolio	Capita Selecta Works./exc.
Assessment						
5	P5	O5	Clinic	C5	Progress- discussions	Capita Selecta
Winterterm						
6	P6	O6	Graduation plan	C6	Practice Report Portfolio	Capita Selecta Works./exc.
Examination 2						
7					Practice Report Portfolio	Capita Selecta
Graduation						
8					Assessment portfolio	Capita Selecta

現行のカリキュラム・ダイアグラム (2011-12年)

1989年頃には、1993年を目標に6年の課程を4年に短縮する方法がすでに検討されている。

このように、1980年代に課された外的な要因によるプログラム改編を5年かけて終えたAvBAは、1993-94年度に新入生を4年制課程に迎え第2期に入った。2年の過渡期を経て1995-96年度からは完全4年制に移行し、94年には3部門長がすべて交代した。

1998-99年度には、新ディレクターAart Oxenaarを迎えた。A. Oxenaarは、就任と同時に3部門長をすべて入れ替え組織を一新するとともに、それまでの教育プログラムの枠組みを守りながら内容の改善を行った。学生の進級に対する負担の軽減、学外実務を正式科目として単位化、これまでのP・O・Cに新たにフォームスタディ(V)を加え、プログラムの基本構成を4カテゴリーにするなど内容の充実を図った。一方、1999年に欧州の文部大臣会議によって、教育プログラムに新たな改編を求めるボローニャ宣言が出された。教育の国際化という目標のもと、学士課程と修士課程を基本とする制度改革や、欧州共通の単位制度が参加各国に求められ、AvBAは、これに対して、講義・演習科目と設計実践科目を同等の重みとするAvBA本来の考え方を踏襲しながら、4年制の修士課程に特化する道を選択した。

2003-04年度から、AvBAは、修士課程プログラムを開始し第3期に入った。第3期では、2007年から2009年にかけて3部門長を順次入れ替えたものの、プログラムに対する大きな改編は行っていない。しかし、留学生の積極的な受け入れ、出版や広報の充実、施設の改修など運用面での工夫が積極的に見られるようになった。

## 6. まとめ

以上、AvBAが1988年に構築した枠組みを守りながら、教育プログラムを更新した経緯と背景、現状、教育効果の一端を明らかにした。

本研究によって、以下の知見を得ることができた。1: 教育の独自性をだすために、創立以来の基本理念を念頭において改革に望む、伝統を継承する態度。2: シンプルでフレキシブルな枠組みを維持しながら、運営者の裁量で臨機応変に改善する手法。3. 資格制度や国際化など外的要因への積極的な対応。4. ディレクターの先見性と指導力。5. 組織の肥大化と固定化を避け、行動力を伴った意思決定が迅速にできるコンパクトな組織体制。6. 教育機関や教員から一方向に与えるという構図ではなく、教員や研究者が出会う場として教育の場を設けることの有効性。

以上から、AvBAの教育は、国際化や目まぐるしくかわる現代の社会状況の中で、建築教育におけるひとつのモデルとして注目されるべき事例と考える。